

平成21年度 工芸技術記録映画

沈金

ちん
さん

前史雄のわざ

この映画は、重要無形文化財「沈金」の保持者である前史雄が、自らの考案による沈金ノミ(角ノミ)を使って沈金箱「幽玄」を完成させるまでを、克明に記録したものである。微風にそよぐ竹林の奥深く小道が続く静寂で幻想的な世界。作者の深い思いや心象風景が描き出され、観る者のこころを引き込んでいく。

文部科学省特別選定

映文連アワード2010

ソーシャルコミュニケーション部門

優秀賞

35ミリ・カラー・37分

企画 文化庁

製作 桜映画社

販売価格(消費税別)
DVD・VHS Ⅱ
個人価格 5,000円
ライブラリー価格 30,000円
団体使用価格
16ミリ Ⅱ 260,000円

「沈金―前史雄のわざ―」によせて

金沢美術工芸大学名誉教授 柳橋 眞

「きれい」と「美しい」は違います。
多少揺らいでいたり、
はみ出しているほうが、面白いんです。

沈金とは、漆を塗った表面に、特殊な彫刻刀(沈金刀)で模様を彫り、その凹部に漆液をすり込み、金箔や金粉などを埋めて、キラリと金色に光る模様を表す漆芸の加飾技法である。凹部に金を埋める(沈める)ことから沈金という美しい名称にしたのは日本であって、もともとは中国で鎗金とよばれていた技法が日本に伝わってきた。早速、日本では単調な棒状の線ではなく、水墨画の筆のように、打ち込みや撥ねなどの表情を工夫した。沈金の技法は沖縄の漆芸をはじめ各地の漆器産地に広まったが、技術者の数や優れた作家が多く、名品を生み出した点で、輪島塗(石川県)の沈金は群を抜く存在である。前史雄の父・前大峰は昭和の初めから全国的に知られた沈金の名人で、時代に即した新表現と新技法を開拓した功績は偉大で、沈金の人間国宝に認定された。

今回の記録映画は前史雄の現在のけれん味のない、深い精神を示す創作の工程を克明に撮影することにより、一般市民に感動を与えると共に、沈金の専門家にとっても常識的な製法からは離れた前史雄の創作の秘伝を学ぶ絶好の機会である。





【DVD 収録内容】

1. 「沈金」とは

沈金は、沈金ノミを使い、漆器の表面に文様を彫り、彫溝に漆を入れ、金粉や金箔を埋める、漆芸の加飾技法である。

2. 前史雄の作品

日本画のような叙情的な作品の多い前史雄。近年では色彩を排したモノクロームの詩情豊かな作品を制作している。

3. デザインの構想、木地と漆下地

前の自然に対する深い観察や心象風景から、デザインの構想が生まれる。これを元に、器の木地が作られる。

4. 前史雄と沈金との出会い

小さいときからものづくりが好きだった前史雄は、父であり、師である前大峰から、沈金のわざを習得。大峰は、点彫りを考案し、立体感溢れる表現を開拓した。

5. 下図の制作と置目

沈金では、彫りが始まれば失敗は許されない。時間をかけて下図を練り、図案を木地に転写する（置目）。

6. 沈金ノミのいろいろ

沈金ノミは、大きくわけて5種類（丸、コスリ、片切、剣、角）ある。前が考案した角ノミは、竹の葉を一彫りで彫り、葉の鋭い感じが表現できる。

7. 漆引き・粉入れ

彫りが済むと漆をまんべんなく塗り、和紙で表面の漆を拭き取る。プラチナ粉をつけた綿で、軽く叩くように彫溝に粉を付け、箱の上部から側面にかけて、彫溝に松煙を入れる。プラチナ粉の銀色にグラデーションをつけ、最後に指先を使い全体の雰囲気を作る。

8. 沈金箱「幽玄」の完成作品

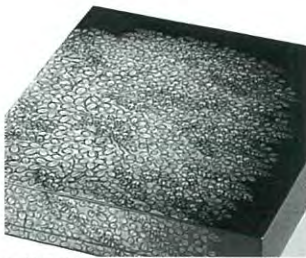
冬の竹林は白い淡雪がひとときわ明るく、日が輝き始めると、すぐ消え入るそのほのかな薄化粧が墨絵のような幽玄の世界を見せる。（完成作品は表面参照）



6 (沈金ノミ)



6 (角ノミ)



2 (作品『十六夜』)



3 (デザインの構想)



5 (置目)



7 (漆引き)



7 (粉入れ)

前史雄 まえ・ふみお

昭和15年(1940)石川県輪島市に生まれる。金沢美術工芸大学で日本画を学んだ後、昭和39年(1964)から父・前大峰に師事して伝統的な沈金技法を習得し、公立学校で美術教育に携わりながら制作活動及び技法研究を重ねた。沈金ノミに関する研究成果を活かして各種の彫刻技法を駆使し、情感豊かな作風を築き高く評価される。石川県立輪島漆芸技術研究所等における漆芸の技術教育にも携わり、後進の指導育成にも尽力している。平成11年(1999)、親子二代の重要無形文化財「沈金」の保持者に認定される。

協力

東京国立博物館
東京国立近代美術館
石川県立輪島漆芸技術研究所

石川県輪島漆芸美術館
惣田登志樹(しっき工房そうだ)
輪島市の皆さん

語り 加賀美幸子 朗読 櫻木孝明

重要無形文化財DVD関連作品

『重要無形文化財 輪島塗に生きる』34分
『木の生命よみがえる—川北良造の木工芸—』33分
『日本の美術工芸—その手わざと美—』28分
『白磁—井上萬二のわざ—』35分

『桐塑人形—林 駒夫のわざ—』37分
『萩焼—十一代三輪休雪の鬼萩—』37分
『民芸陶器(縄文象嵌)—高岡達三のわざ—』37分
『小鹿田焼』34分

作品・ご購入のお問合せはこちらへ

株式会社 桜映画社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-20-1 千駄ヶ谷ビル 4階
tel 03-3478-6110 fax 03-3478-5966 <http://www.sakuraeiga.com>